

免疫の暴走を抑える 「卵殻膜」 & 「酪酸菌」

サイトカイン ストーム

「卵殻膜」による「Th17 細胞」の増殖抑制作用と、抗炎症作用

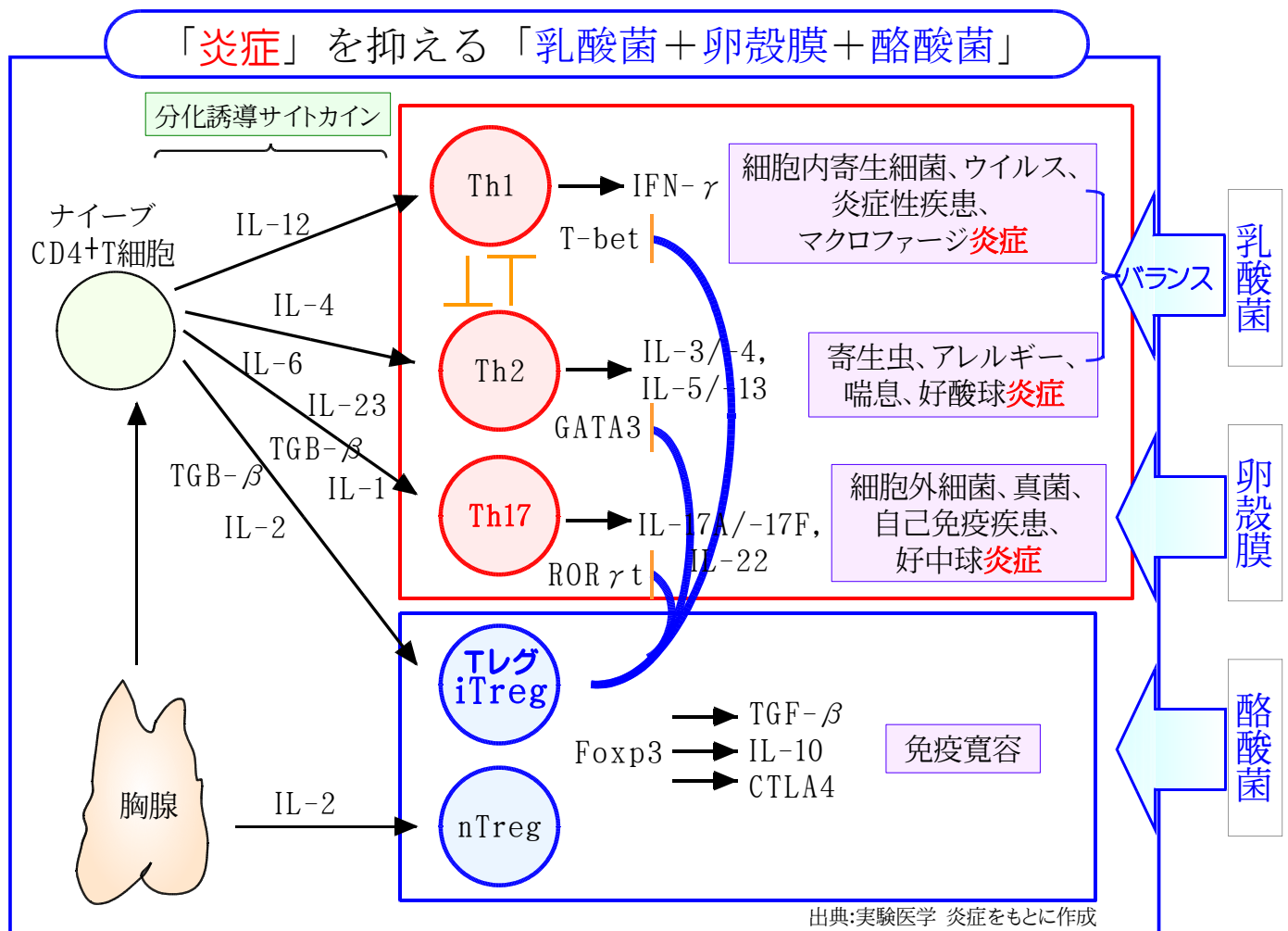
「卵殻膜」に“炎症性腸疾患”などの改善効果

東京大学の加藤特任教授は、2007年より研究していた「卵殻膜」の生体への影響についての成果が世界的権威のある電子ジャーナル「ScientificReports」に掲載されました。

掲載された論文は、デキストラン硫酸ナトリウム誘発「大腸炎」マウスを使い、卵の薄皮である「卵殻膜」の摂取による腸内細菌叢における次の作用を発見しました。



- ① 腸内毒素分泌の減少により、「炎症性サイトカイン」産生を抑制
⇒ 例、「コロナウイルス」や「炎症性腸疾患」などによる“サイトカインストーム”を予防
- ② 「腸内細菌叢」における多様性の増加
- ③ 「病原性細菌」の絶対数の減少
- ④ 腸間膜リンパ節における「Th17 細胞」の増殖の抑制、



「Tレグ」とは、免疫反応を抑制する細胞のことです。免疫は「ウイルス」などから体を守る重要なシステムですが、“サイトカインストーム”のように過剰に働きすぎると体に悪影響を及ぼします。「コロナウイルス」などでも“サイトカインストーム”が発症します。又、「関節リウマチ」や「炎症性腸疾患」などの「自己免疫性疾患」は、過剰な免疫反応が原因で発症する病気です。「サイトカインストーム」のよう“過剰な免疫反応”を抑えるのが「Tレグ細胞」なのです。

「酪酸菌」は「Tレグ」を増やし免疫のバランスを調節し、“サイトカインストーム”を防ぎます！